染色加工大手の20年3月期連結決算

（単位：百万円、カッコ内前期比伸び率%、▼減・赤字）

社名	売上高	営業利益	経常利益	純利益	繊維売上高	繊維営業利益
セーレン	120,258（▼2.0）	10,502（▼0.8）	11,250（▼2.8）	8,551（3.9）	94,447（▼4.8）	7,379（▼1.0）
小松マテーレ	36,525（▼6.5）	1,612（▼25.5）	2,152（▼22.5）	1,375（▼35.5）	35,906（▼6.4）	1,594（▼23.0）
サカイオーベックス	27,561（1.1）	2,123（4.9）	3,013（▼3.1）	2,313（3.8）	21,153（1.5）	1,384（5.4）
東海染工	14,010（▼3.4）	617（▼17.9）	604（▼25.1）	▼551（—）	11,043（▼5.1）	457（▼30.1）
ソトー	11,219（▼0.1）	193（▼19.1）	358（▼6.6）	▼97（—）	10,692（0）	▼219（—）
倉庫精練	2,778（▼17.7）	▼245（—）	▼217（—）	▼130（—）	2,439（▼14.5）	▼291（—）

※繊維事業：セーレンはハイファッションと車輌資材（シート材、エアバッグなど）、サカイオーベックスは染色加工と繊維販売、東海染工は染色加工と縫製品販売、ソトーは染色加工とテキスタイルの合算

染色加工大手の20年3月期連結決算は、衣料や繊維資材などあらゆる用途で市況低迷のあおりを受け、苦戦が目立った。第4四半期（20年1～3月）以降、新型コロナウイルスの影響も出ており、今期（21年3月期）は全社が業績予想開示を見送った。

染色加工、テキスタイル、縫製品といった関連セグメントを合算した繊維事業の業績は、増収増益だったのは6社中、サカイオーベックスのみ。ほかは4社が減収、減益も4社で前期比2ケタのマイナスがほとんど。

セーレンは減収も営業利益1%減と比較的健闘。カーシート、エアバッグ縫製などの車両資材が国内外で販売が落ちたが、高付加価値品が堅調だったことやメキシコの改善で2%弱の減益だった。衣料関連のハイファッションは減収ながらスポーツ向けの差別化素材が堅調で増益。

小松マテーレは3月に行った2週間の休業が響き、販売面ではスポーツ、ファッション向け、資材の車両、生活関連、カーテンなどが苦戦した。一方で中東民族衣装、建材は伸ばした。

唯一、増収増益のサカイオーベックスは、染色加工が微減収も6%以上増益、テキスタイルや縫製品の繊維販売事業が増収増益。用途別では染色加工のスポーツ、自動車関連、テキスタイル販売のユニフォーム向けが堅調。利益面では染色の稼働効率化などが奏功した。

東海染工は染色加工の定番織物、ニットの受注が減少。海外子会社のインドネシア、タイともに現地市場の混乱などで苦戦した。一方でテキスタイル販売は国内のスポーツ向け、タイの高単価品の販売が寄与。縫製品は2ケタ減収も、採算が改善して黒字転換した。

ソトーは前年並みの売り上げを確保するも、染色加工の収益悪化で赤字幅が拡大。加工料金の是正に努めたが、織物、ニットともに受注減となったことや、原材料価格の上昇が響いた。

倉庫精練は赤字が継続する

抗菌機能

マスク

丸安毛糸

ニット糸企画・販売の丸安毛糸（東京、岡崎博之社長）で抗菌防臭などの機能糸が売れている。生産が盛んな布マスクに加え、衣料用途でも引き合いが強まっている。

新型コロナウイルスの感染拡

菌に対し、基準値の2倍を超える高い抗菌性能が認められた。菌の増殖を抑えるだけでなく、強力な撥水性能により菌が付着しにくいという。効果は洗濯10回後も持続する。

ポリエステル・綿の58番双糸で、32色をストック販売している。衣料用でも注目されており、国内だけでなく、中国アパレルからも引き合いがあるという。

綿100%の接触冷感糸「ス

「アイスタッチ」として丸編みの販売も始めた。肌面に接触冷感性を持たせながら、顔にフィットしやすくするため、表面にストレッチポリエステルをプレ

売店など様々で、点にもなっていに工場を探していく、ニットメーカている。

服地コンバーターの川越政21年春夏

製品OEM強める

持続可能性志向を重視

服地コンバーターの川越政（大阪市）は21年春夏向けで、サステイナブル（持続可能な）志向を重視しながら、ナチュラル系テキスタイルと機能素材を軸にした製品OEM（相手先ブランドによる生産）を強める。新型コロナウイルスの影響が長引くなか、プレゼンテーションにオンライン会議システムの「ZOOM」（ズーム）を活用するなどしてアパレルとの効率的な商談を追求する。

テキスタイルは、3素材を重点にすえる。リサイクルポリエステル100%のジャケット向けヘビーツイルは、ペットボトル由来で環境に配慮した。綿100%の4重ガーゼ「クアトロガーゼ」企画はシャツなどを意識し、後加工でふんわり柔らかく仕上げる。ウール・リネンの天日ワッシャー加工の高密度織物はジャケットやパンツ、コート向けで、経糸が梳毛糸で型崩れしにくく、麻のしわを軽減して光沢感がある。

OEMは、"環境対応素材や機能素材の企画"を充実。豪州産メリノウールを取り入れて化学処理を施さない高密度ウール企画は、防風や耐水性、吸放湿性のあるアウター類を提案する。PTT（ポリトリメチレンテレフタレート）繊維「T400」を進化させた軽量ミニリップストップ企画は、ストレッチ性や撥水性があり、スポーツやアウトドアなどのトップ、ボトムに対応する。2重織りフォーウェーストレッチのパンツやブランドロゴを大きくプリントしたポンチョも撥水機能がある。

また、健康関連ではT400の生地に富士山と桜をプリントしたカットソーマスク、抗菌機能や接触冷感、吸水性があるスポーツ素材のフェイスマスクを提案する。綿のダブルガーゼで、シャンブレー調の抗菌タイプや表面がサテンの変わり織りのマスクやシャツなども供給する。中国製のアイソレーションガウンは、AAMI（米国医療機器振興協会）が定めたバリア性能レベル1～3に認定された工場が生産した。

同社は、在宅勤務やコアタイム導入で企画が遅れるアパレルの実情を踏まえ、ZOOMを使ったリアルタイムの情報共有やシフト体制によるスムーズな資料発送、仕入れ先ネットワークを生かした素材の充実を強める。特に、ZOOMによる国内アパレルとの商談では成功事例も出ており、「コロナ禍が続く中での対策としてウェブが有効。移動時間の節約になり、提案フォーマットの社内共有もできる」（川越浩治社長）と手応えを得た。今後は中国工場やベトナム現地法人、英国の販売先との多極の取り組みに活用する。

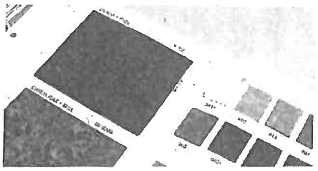
ペットボトル由来で環境に配慮したポリエステルのヘビーツイル

ハイズ&スキンズエージェンシー

イタリアンコンバー

素材取り扱いに

靴やかばん向け素材の輸入卸、ハイズ&スキンズエージェンシー（千葉県印文社長）は、21年イタリアの生地メリアンコンバータり扱いに本腰を入から、イタリアンと日本における代



型押し加工のスロアなどを揃え

テキスタイル・エクスチェンジ推奨繊維に

U・S・コットン・トラスト・プロトコル

全米綿花評議会は、よりサステイナブル（持続可能）な方法で栽培された綿花の基準を設定し、証明している「U・S・コットン・トラスト・プロトコル」が、テキスタイル・エクスチェンジの推奨繊維・素材リストに追加されたと

トラスト・プロ

国の綿花生産にお

トプリント（環境

荷）を継続的に改

いくための業界全

ム。生産者は任意

や土壌の保全強化

ガス排出量を削減

り組みについてデ

し、第三者機関で

タをアパレル企業